



受講生  
募集

# 「男性のための電話相談」 相談員養成講座



心をほどくお手伝いを、  
いっしょにやってみませんか？

家庭、仕事、人間関係…。

男性は、周囲に打ち明けにくいまま、悩みをひとりで抱え込んでしまうことが少なくありません。

本講座では、男性相談の特徴やジェンダー視点に基づいた相談対応の方法を学びます。

これまでの専門性を活かしながら、新たな視点で相談支援に関わりたい方のご参加をお待ちしています。

## 講座概要

内容の詳細は裏面を  
ご確認ください

「男性のための電話相談」相談員養成講座（基礎編）（5日間・全10回）

講義・グループワーク等で、相談支援に必要な考え方・姿勢・基礎知識を学びます。

## 日程

毎月第4土曜日

10:30~12:30 / 13:30~16:00

※9月のみ第1土曜日も実施 2026年6月27日、  
7月25日、8月22日、9月5日、9月26日

## 対象

次のすべてに該当する男性 10名 ※先着順

- 対人援助職の実務経験者、または心理職養成課程（臨床心理士・公認心理師等）に在籍する大学院生
- 原則として全日程（下記実践編も含む）に参加できる方
- 修了後、相談員としての活動に関心がある方

## 参加費

全10回分 18,000円

（市外20,000円、大学院生10,000円）

※初回受付で現金にてお支払いください。

※市外料金は、横浜市在住・在勤・在学以外の方に  
適用されます。

※納入後の受講料は原則として返金できません。

## 申込 方法

協会 HP または二次元コードから  
お申込みください。



## 会場

アートフォーラムあざみ野（男女共同参画センター横浜北 会議室1）

電話 045-910-5700 住所 〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南1-17-3

開館時間 9:00~21:00（日曜・祝日は17:00まで）

休館日 毎月第4月曜、年末年始



横浜市営地下鉄・東急田園都市線  
「あざみ野」駅下車 徒歩5分  
※駐車場あり / 先着順（有料・予約不要）

## ■ 「男性のための電話相談」相談員養成講座（実践編）（6日間・全6回）

実際の相談の場に触れながら、相談業務に必要な対応力を実践的に養います。

日時 2026年10月~2027年3月 毎月第2土曜日 12:30~18:00

対象・定員 基礎編修了者で実践編への参加を希望する方 5名

※選考（基礎編受講状況、作文提出等）により、受講者を決定します。

※アートフォーラムあざみ野は、「男女共同参画センター横浜北」と「横浜市民ギャラリーあざみ野」の複合施設です。

※男女共同参画センター横浜北は、公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会が管理運営する男女共同参画センター3館のうちの1つです。

※メールマガジンで講座・イベント情報をお届けしています。登録は協会のHPまたは二次元コード（右）から。

※提供された個人情報は、今回の事業実施のみに利用し、その他の目的で利用することはありません。

※荒天、天災等によっては、本講座は、中止・延期・開催方法の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

日程や会場の変更があった際には、申込時にご記入いただいた連絡先にご連絡する場合があります。





### 福島 充人 (ふくしま みちひと)

一般社団法人日本男性相談フォーラム代表理事／男性心理臨床研究所共同代表／スクールカウンセラー／臨床心理士・公認心理師

2019年（一社）日本男性相談フォーラムを設立、日本初の男性相談『男』悩みのホットラインや男性相談ポータルサイト「オトコロネット」を運営。自治体が実施する男性相談の受託をはじめ全国男性相談研修会など、相談員の養成や男性相談の普及を目指す。内閣府や自治体において男性相談の実態についてヒアリング協力や講演などを行う。父親が自身の子育てを語る「パパカフェ」を共同運営。

【共著】『男性は何をどう悩むのかー男性専用相談窓口から見る心理と支援』（ミネルヴァ書房、2018年）



### 濱田 智崇 (はまだ ともたか)

京都橋大学総合心理学部准教授／公認心理師／臨床心理士／カウンセリングオフィス天満橋代表

1995年、京都大学教育学部在学中に日本初の男性専用相談『男』悩みのホットラインを開設。内閣府地方自治体等における男性に対する相談体制の整備支援のための調査検討会委員、内閣府DV相談プラス事業における相談支援の分析に係る調査研究事業検討会委員などを歴任。男性相談の相談員養成やスーパーヴィジョン、男性向け講座の講師など多数。

【共著】『男性は何をどう悩むのかー男性専用相談窓口から見る心理と支援』（ミネルヴァ書房、2018年）／『子別れのための子育て』（平凡社、2012年）／『暴力の発生と連鎖』（人文書院、2008年）

## 「男性のための電話相談」相談員養成講座（基礎編）

### 第1回

2026年6月27日(土) 10:30~12:30  
「男性相談とは何か」

男性相談がどのような活動から誕生したのか、誰を対象として、どのように発展してきたかなどをお話します。「女性の方が生きづらい」「男性の方が生きづらい」といった単純な対比にとどまらない、男性相談が目指している基本的な理念をお伝えします。

### 第2回

2026年6月27日(土) 13:30~16:00  
「男性相談の実際」

男性相談にはどのような相談が寄せられてきたのか、相談内容について、30年間の変化も含めてお話しします。代表的な相談内容をご紹介しますながら、それらをどう受け止めるかについて、一緒に考えます。

### 第3回

2026年7月25日(土) 10:30~12:30  
「男性相談の実践のために」

これまで男性相談を受けてきた経験からわかってきた、男性の相談の仕方や、コミュニケーションにおける傾向についてお話しします。それに対して、同じ男性として、どのように向き合い、関わっていくのが良いか、相談を受ける際に役立つコツについて、理解を深めます。

### 第4回

2026年7月25日(土) 13:30~16:00  
「すべての人が生きやすい社会を目指すために」

男性相談でわれわれが目指してきた「“かくあるべし”を緩める」ことが、男性の支援に役立つだけでなく、男性の意識を変えていくこと、さらにはすべての人が生きやすい社会の実現に役立つことをお話しします。改めて、男性相談の意義について理解を深めます。

### 第5回

2026年8月22日(土) 10:30~12:30  
「男性相談における当事者性について考える」

男性はなぜ相談を受けることに抵抗があるのか。男性であるがゆえに、悩みを相談しようとする際に生じる困難についてお話しします。また、相談員自身が相手に与える影響についてグループワークを通じて考え、男性相談における当事者性について理解を深めます。

### 第6回

2026年8月22日(土) 13:30~16:00  
「理論から実践に結びつける」

男性相談に寄せられる相談について、仮想事例を用いて相談員／相談者それぞれについてロールプレイを通じて男性相談への理解を深めます。参加者同士でフィードバックを行いジェンダーセンシティブな対応について考え、事例理解と自己理解の機会にします。

### 第7回

2026年9月5日(土) 10:30~12:30  
「男らしさの鎧とハラスメント」

「認められたい」「かくあるべし」など社会適応するための「男らしさの鎧」が他者や自分を傷つけることがあります。「相談」という構造自体が支配構造を生じやすいことに留意しながら支援をするために、身近にある年長・地位・権威・権力などについて理解を深めます。

### 第8回

2026年9月5日(土) 13:30~16:00  
「男性にとっての被害体験／加害体験」

男性相談に寄せられる相談について、被害体験・加害体験を中心とした仮想事例を用いて男性相談の対応に関する理解を深めます。「男性であろうとする」防衛機制について、また、男性にとって安心安全な相談体験とはどのようなものか、ロールプレイを通じて考えます。

### 第9回

2026年9月26日(土) 10:30~12:30  
総括「男性と居場所1」

講師2名と男性相談窓口運営者による簡易シンポジウム。第8回までの振り返りを中心に行います。振り返りの中で生じた疑問や相談員として不安に感じていることについて言語化し、参加者同士で分かち合います。

### 第10回

2026年9月26日(土) 13:30~16:00  
総括「男性と居場所2」

男性相談における当事者性とジェンダーセンシティブな対応について理解を深めます。男性相談窓口を通じて相談者の日常を支えるために必要なことは何か、グループワークを通じて考えます。